

萬川君は以前から本市での経験が豊富にありますね。
萬川隊員 吉野川市に関わりだしてから、もう3年にはなりますね。きっかけは2人と一緒に和紙だっただけです。
原井市長 きっかけは美郷かなあと思ってたけど。

萬川隊員 いや、きっかけは和紙です。海外に行っていた経験があって、日本に帰ってきたときに、伝統工芸がやりたいと思って探したら和紙がいいなと。それで家も決めずに吉野川市に来ました。

協力隊になったのは、働いてるうちにいろんなイベントとかで地域の人と会う機会が多くなって、その中で面白い人が多かった。内に熱い思いを持ったおっちゃんが出て、これがやりたいんやけど、できない、でもやりたいと思ってる人が結構いたんです。そんな人たちに自分もってコミットできるんかなと思って協力隊に。

原井市長 経歴歴でも、いろいろな地域での経験が豊富だね。それにアウトドアが大好きやもんね。

萬川隊員 そうですね。家でじっとはできないです。

原井市長 特に自転車？

萬川隊員 昨日も美郷を自転車で廻っていました。市長は自転車されますか。

原井市長 僕は選挙のときは自転車

使ってたけど(笑)。

確か美郷の山の中でいい物件を見つけたらしいね。

萬川隊員 標高350mの一軒家で景色は最高です。プラス今回、畑がついてきたんですよ。

原井市長 ほんま、ええなあ。みんな住むとこ決まったん？

一同 決まりました。



吉野川市の魅力は「山」と「温厚な人柄」

原井市長 それでは次のテーマにいきたいと思います。まだ吉野川市で住みはじめて間もないですけど、吉野川市

地域おこしのテーマは「縮充」

原井市長 次のテーマとして、これからやってみよう。ある程度今までの話の中で出ちゃった感じもしますけど。改めて構いませんので。それぞれのCDA、和紙会館、美郷を拠点として。

滑良隊員 せっかくなので、3人いっしょに何かしたいですね。

原井市長 ほんま幸いなことに一気に3人着任してくれたので。個人的な想いとして、絶えず協力隊が市内にいるような状態にしたいなと思っています。一応3年が任期なんですけど、3年経って今の協力隊の任期が終わってもまだ新しい隊員が市で活動している。そういう好循環を生み出していきたい。

滑良隊員 私の仕事の中に、市街地活性化の仕事もあるんですけど、市民ボランティアの周りを来たときに周辺で飲食店とか物産とかあれば、ここに来る理由にもなると思いますし、こちらで物産展とか何かできたらなって思ってるんですよ。

原井市長 そうですね。是非、横のつながりを大切にしたいですね。同世代で問題意識を持っている人たちがたくさんいますのでね。そういう人たち

に来てみての印象、またどんな感想を持ちましたか。

滑良隊員 やっぱ東京とは違って人がすごく温かいですね。それと、どこをみても山が見えるというのは嬉しいです。

原井市長 山が好きですか。

滑良隊員 そうですね。高校も大学もずっと東京だったので、山を見る機会があまりなくて。

原井市長 萬川君はどんな？

萬川隊員 僕は実家は海沿いなんですよ。

原井市長 和歌山県やけんなあ。ある程度環境も似とるし。和歌山市だった？

萬川隊員 はい。結構海沿いだったんで、こっちは山なんで、そのギャップはあります。

原井市長 徳島平野は北の讃岐山脈と南の四国山地に挟まれて、幅が狭いんですよ。そこに吉野川が中心に流れとって、吉野川市はその南岸にあります。山間町にある高越山を地元の人は「おこつっあん」って呼ぶんですけど、なかなか雄大な景色ですよ。

本田隊員 登ってみたい。

原井市長 おこつっあんのの上の方に行ったら船津つじ公園というのがあって、オンツツジの群落があるんですよ。5月がだいたい見頃なんです。

ん人を集めたいですね、この場所に。
原井市長 あと何かどうでしょう、これからやってみよう、構想でもいいですよ。3人でのコラボとかいろいろありますけど。

滑良隊員 私、ここに希里ちゃんとの作品を置いてみたくて。そういうところってつながりとかしたいです。

原井市長 若い人の自由な発想でやってもらえたらなと思っています。昔ほどの地域も人口が増えて、行け行けどんどの競争社会だったと思うんですけど。今の時代は競争ではなくて協力社会だろうなと考えています。競争をあからさまにやっていくよりも、協力して何ができるかと、そういう社会にシフトチェンジしていったらいい感じだと思います。今の時代、携帯電話ひとつでさまざまなデータを入手できます。今後の吉野川市を含む地方の人口がどうなっていくかというの全部出てます。今、2020年の吉野川市の人口は約4万人です。20年後の2040年の推計で2万8千人です。そのまた更に20年後の2060年には推計で1万8千人になる。そういう統計も出ています。当然、地域おこし協力隊の皆さんと移住者獲得を頑張ってるっていいんですけど、減るのは目に見えている。減るのが分かっている中で行政としても今ある予算でこれまで以上に

萬川君は行ったことあるよね。

萬川隊員 すごく密集してます。

本田隊員 ツツジが？

滑良隊員 密集したツツジは見たことないですね。

原井市長 満開のときに行ったらきれいですよ。

滑良隊員 地域のきれいな所とか推したい場所をCDAで紹介したりしたいんですよ。阿波和紙のサンプルを持ってきて実際に人にPRできる場所にしてほしい。

原井市長 やりたいと思ったことは何でもトライしてもらえたらなと思います。自分がやって楽しい、そういうことに没頭してもらいたい。楽しいことをやるのが長続きの秘訣だと思います。

吉野川市の人の人柄は都会の人と比べたらどういう印象ですか。

滑良隊員 全然違います。その人の情報をよく知っているとか、他人に対して興味がある地域だなんて思います。

原井市長 美郷は特に横のつながりが強いんですね。

滑良隊員 相談ことをみんなで解決できるっていうのが嬉しいですね。

原井市長 それは地方の特徴で、温厚な人が多いのは間違いないでしょうね。僕もだいたい温厚な方なんです。

一同 (笑)

知恵を出してやっていかなくちゃならないなと思っています。僕は大きなテーマとして「縮充」を大事にしています。人口規模は小さくなっていくけど、地元に住んでいる人がやりがい、生きがいを持って充実した生活をしていく。縮んでいくけど、充実していく。少数精鋭という言葉がありますけど、美郷は年間を通じて四季折々のイベントがあつてうまくできているなと思っています。人口は減っているけど、交流人口は結構いる。20年先、40年先をイメージして、今やらなければならぬことを僕も常に考えてます。またいいアイデアがあつたら是非いただけませんかと思います。本日はありがとうございました。これからの活躍を期待しています。

